

こ じ こ ぼうし 子どもの事故を防止しよう

まいにち せいかつ じ こ さいい か あか ちい こ とし ひと きゅうきゅうしゃ はこ かず おお
毎日の生活の事故では 5歳以下の赤ちゃんや小さい子どもと年をとった人の、救急車で運ばれる数が多く
なっています。小さい子どもは危険なことがわかりにくく、危険を防ぐことが難しいです。家族などまわりの人
が、これまでにどのような事故が起こっているかを知ります。いつでも気をつけておくことで、とても大きな事
故から子どもを守ってください。小さい子どもに多い事故と、中等症（病院に入院が必要になるくらい）以上
の割合をみると、救急車で運ばれることが多いのは“落ちる”事故、“ころぶ”事故となっています。また、中等
症以上の事故では、“おぼれる”事故が一番多くなっています。高い所から落ちた場合は、命の危険になることが
多いです。十分注意してください。

<「おぼれ」による事故を防ぐために>

- ・ 小さい子どもをお風呂に入れているとき、水遊びをさせているときは、決して目を離さないようにしてください。
- ・ 子どもだけでお風呂場に入れないようにしてください。



<窓やベランダから「落ちる」事故を防ぐために>

- ・ ベランダで子どもが遊ばないようにしてください。
- ・ エアコンの室外機、植木鉢などを置く場所には注意してください。
- ・ ベランダへの出入口の窓などには、鍵を二重にかけるなど子どもが一人で出られないようにしてください。
- ・ とときどき、手すりに壊れているところがないか、確認してください。



くわ
詳しくはこちら

「乳幼児の日常生活事故防止動画」（日本語） <https://www.youtube.com/watch?v=gmLJAc6upZc>